

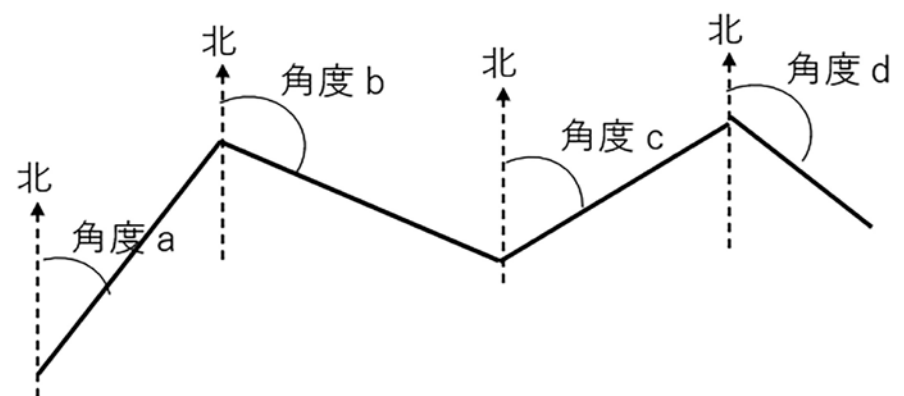
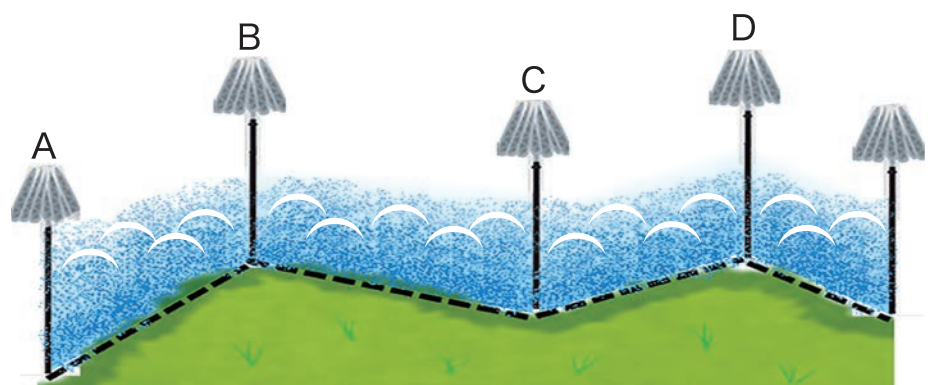
導線法と交会法

導線法は伊能忠敬以前から行われていた測量法であり、導線法の誤差をカバーするものが交会法です。

【導線法】

図のように海岸線や道を直線で結び、A, B, C, D...の測点の場所に**梵天**と呼ばれる目印を立てます。次にA, B間の距離とAの測点からBの測点の真北に対する角度を測り記録します。そしてC, D...と2点間の距離と角度の計測、記録の作業を繰り返しながら、進んでいきます。

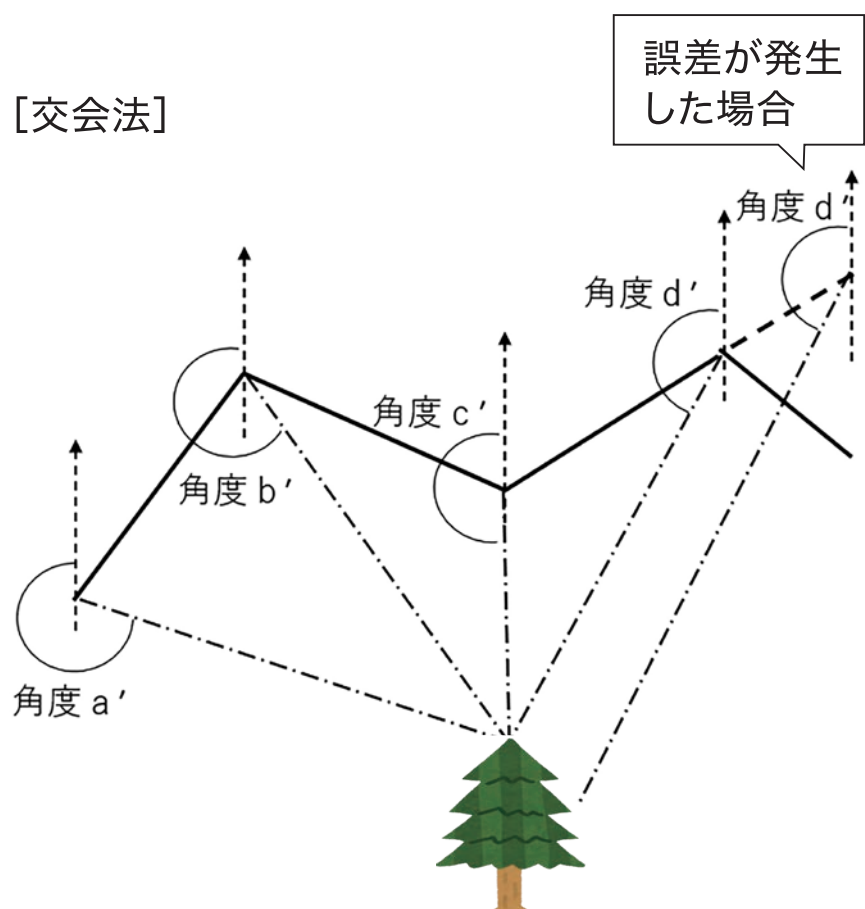
【導線法】



【交会法】

導線法では測量を重ねていくうちに誤差が蓄積されていきます。この誤差をチェックするための測量術が交会法です。導線法での測量中に各測点から見える、山や建物などの目標物の方位を計測しておき、地図化するとき各測点から目標物へ方位線を引きます。測点位置が正しければ、方位線は1点で交わります。

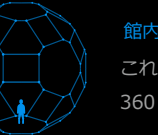
【交会法】



館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** › <http://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介しますデジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.